

## 平成28年度日本小児外科学会評議員会議事録

日 時：平成28年5月23日（月）14：30～17：30

場 所：ヒルトン福岡シーホーク 1階「アルゴスA・B」

出席者：開会時、出席者数 163名

委任出席者数 69名 計232名

定刻通り黒田達夫理事長が開会宣言を行なった。定款第30条に定められた成立定足数156名（評議員311名の過半数）を充たしており、本評議員会の成立が確認された。尚、名誉会員3名、特別会員5名のご出席をいただいていることが報告された。

続いて注意事項として、閉会・退席時に出席票を提出するよう指示があった。

議長の選出：定款第29条により、田口智章会長が議長に選出された。

議事録署名人の選出：議長により、佐々木英之（東北大学小児外科）、廣瀬龍一郎（福岡大学小児外科）両評議員が選出され、承認された。

次に議長より、追加議事案件の文書提出の締切時刻を14時45分との説明があった。

また、次期副会長および施設認定委員会委員・専門医認定委員会委員への立候補について、定款施行細則により定められた期日までに届出のあった候補者名が手許資料として配布してあること、既に締切日を過ぎているので本評議員会会場で立候補はできないことが説明された。

続いて、菱木知郎庶務委員長より、平成27年度物故会員6名（三浦純一先生、塚田一博先生、守屋荒夫先生、市川邦男先生、HAYS DANIEL M.先生、小柳泰久先生）の報告があり、全員で黙祷をささげた。

### 議 事

#### 1. 名誉会員、特別会員推戴に関する件

黒田理事長より、定款第6条に基づき、本年は蕪澤融司先生、福澤正洋先生を名誉会員の2名を名誉会員に推戴したい旨の発言があり、続いて、推戴理由として各候補者の略歴および本学会への功績についての説明があり、承認された。

#### 2. 役員・専門医制度委員選任の件

##### 1) 次期会長の選任

議長より、仁尾正記現副会長が次期会長に就任することが提案され、承認された。

##### 2) 次期副会長の選任

議長より、次期副会長の選出を行うとの宣言があり、定められた期日までに届出のあった立候補者は、以下の1名であったとの報告があった。

立候補者名：窪田正幸（新潟大学小児外科）

議長より、立候補者が1名のため無投票で窪田評議員が次期副会長に選出される、との宣言があり、承認された。

### 3) 施設認定委員会委員選任の件

議長より、専門医制度施行細則第3条により施設認定委員会委員の選出を行うとの宣言があった。

立候補者名（50音順）：

秋山 卓士、家入 里志、内田 広夫、米田 光宏

以上4名の立候補者があった旨議長から報告があり、立候補者が4名のため無投票で施設認定委員会委員に選出される、との宣言があり、承認された。また、この間に定められた時刻を経過したため、議長は文書による追加議事案件提出の締切を宣言した。追加議事案件の提出はなかった。

### 4) 専門医認定委員会委員選任の件

議長より、専門医制度施行細則第3条により専門医認定委員会委員の選出を行うとの宣言があった。続いて、定款施行細則第6条により、選挙管理委員として、高見澤滋評議員、浅桐公男評議員の2名が指名され、高見澤評議員が選挙管理委員長を務めることとなった。

次に、立候補者5名により、4名以内の連記・無記名で投票を行うことが告げられ、あわせて投票方法についての新しい説明、諸注意があった。

立候補者名（50音順）：

小野 滋、尾花 和子、廣部 誠一、増本 幸二、和田 基

開票結果：高見澤選挙管理委員長より報告があった。

有効投票数704票、無効投票数5票

増本 幸二 161票 廣部 誠一 145票

小野 滋 144票 和田 基 133票

尾花 和子 121票

以上の上位4名の立候補者が選出される、との宣言があり承認された。(次点 尾花和子)

### 3.2015（平成27）年度庶務報告に関する件

菱木庶務委員長より、会員動向について以下の報告があり、承認された。

正会員2,130名（新入会:107名、退会:75名、資格喪失:61名）、名誉会員53名、(国内:46名、海外:7名)、特別会員70名（国内:69名、海外:1名）

### 4.2015（平成27）年度事業報告承認の件

各種委員会担当理事または委員長より、以下のように報告があり承認された。

#### (1) 機関誌委員会（奥山宏臣担当理事）

奥山担当理事より以下の報告があった。

- 1) 機関誌投稿論文の状況
- 2) 機関誌論文の査読辞退状況
- 3) 論文へのアクセス状況
- 4) 第51巻優秀論文候補の選定

5) 機関誌に関する諸問題の検討

6) その他

なお、議長より、評議員には学会における責務を自覚していただき、なるべく査読依頼を受諾いただきたい旨要望が述べられた。

(2) 国際・広報委員会（黒田達夫担当理事）

黒田担当理事より以下の報告があった。

- 1) ホームページの更新について
- 2) 国際活動について
- 3) PAPS JAPAN からの報告
- 4) ホームページの見直し開始について

(3) 保険診療委員会（廣部誠一担当理事）

廣部担当理事より以下の報告があった。

- 1) 平成 28 年度医科診療報酬改定について
- 2) 新設された内視鏡手術 3 術式の実態調査について

(4) 教育委員会（山高篤行担当理事）

山高担当理事より以下の報告があった。

- 1) 卒後教育セミナーについて
- 2) 内視鏡手術セミナーについて
- 3) 小児外科用語集について
- 4) 専門医取得に関わる卒後教育セミナーの必修化と専門医・指導医の更新の為の教育セミナーについて

(5) 悪性腫瘍委員会（米倉竹夫担当理事）

米倉担当理事より以下の報告があった。

- 1) 小児の外科的悪性腫瘍 2014 年次登録症例の全国集計結果について
- 2) 他の登録事業との連携について
- 3) 年次登録事業の倫理審査更新に関して
- 4) マスククリーニングの効果とマスククリーニング休止が及ぼす影響に関する研究について
- 5) 日本小児・思春期・若年成人がん関連学会協議会について
- 6) 登録データ利活用に係る規定作成について
- 7) その他

(6) 学術・先進医療検討委員会（八木 實担当理事）

- 1) ビデオライブラリーの作成について
- 2) 新生児外科全国調査と報告
- 3) アンケート調査及び診療指針、ガイドラインの審査依頼について
- 4) 先進医療及び学術的情報収集および会員への情報提供について

(7) 倫理・安全管理委員会（漆原直人担当理事）

漆原担当理事より以下の報告があった。

- 1) 医療倫理セミナーについて
- 2) 感染対策セミナーについて
- 3) 倫理・安全管理委員会便りについて
- 4) 医療事故調査制度の施行について

なお、議長より、第53回本学術集会のセミナーやシンポジウム・ワークショップなどを領域別講習や共通講習として充当できるように、日本外科学会を通じて日本専門医機構に申請・承認の見込みである旨追加説明があった。

(8) データベース委員会（米倉竹夫担当理事）

米倉担当理事より以下の報告があった。

- 1) NCD-小児外科領域会議について
- 2) 小児外科診断マスターの改編について
- 3) アニュアルレポートの作成について
- 4) NCD-P 入力マニュアルの作成について
- 5) Q&A 集の作成について
- 6) NCD 小児外科術式対応の作成について
- 7) NCD 小児外科施設認定・判定ロジックの確認について
- 8) 症例アップロードシステム運用開始について
- 9) 専門医・指導医・施設認定に関するシステムの検証と更新について
- 10) その他

(9) 小児救急検討委員会（奥山宏臣担当理事）

奥山担当理事より以下の報告があった。

- 1) PALS講習会について
- 2) 小児救急セミナーについて
- 3) ホームページ上の小児救急の受け入れ状況のページの更新について
- 4) 小児救急連絡協議会について

(10) 利益相反委員会（漆原直人担当理事）

漆原担当理事より以下の報告があった。

- 1) 第2回「研究倫理教育研究会」について
- 2) 学会誌の査読者の利益相反状態の確認について
- 3) 自己申告書の検証について
- 4) 倫理安全管理・利益相反講習会について

(11) ワークライフバランス検討委員会（廣部誠一担当理事）

廣部担当理事より以下の報告があった。

- 1) 学術集会におけるセッションの企画について
- 2) ワークライフバランスについての啓蒙活動、懇親活動について
- 3) 小児外科学会ホームページ上での広報活動について
- 4) 学会発表、他学会・他ワーキンググループとのネットワークづくりについて
- 5) 本学会における男女共同参画とクオータ制導入に向けての取り組みについて

(12) トランジション検討委員会（八木 實担当理事）

八木担当理事より以下の報告があった。

- 1) 背景および現状について
- 2) 移行期支援ガイドブックについて
- 3) 移行期に関する問題点および今後の展望について

(13) 規約委員会（越永従道担当理事）

越永担当理事より以下の報告があった。

- 1) 業務内容について
- 2) 臨床データの取り扱いに関する規定の見直しについて

## 5. 理事長報告

黒田理事長より以下の報告がなされた。

- (1) 社団法人化に関して
- (2) 財政再建と会費値上げに関して
- (3) 評議員クォータ制の導入に関して
- (4) 新たな日本専門医機構の下における小児外科専門医制度構築に関して
- (5) 関係団体との連携・協力について
- (6) 国際活動について
- (7) National Clinical Database (NCD) 関連事項について
- (8) 医療事故調査機構への参加について
- (9) 熊本地震災害への対応について
- (10) 学会からの推薦などについて
- (11) 理事会議事録の学会ホームページ掲載について
- (12) 総合調整委員会について

この項は、越永副理事長（総合調整委員会委員長）から補足説明があった。

(13) 日本小児連絡協議会（四者協）について

この項は、田口会長（日本小児期外科系関連学会協議会）から補足説明があった。

以上の理事長報告について、今後の事業計画も含めた全体の方向性につき、議長が承認を求めたところ、全会一致で承認された。

また、特に重要な2案件について以下の説明がなされ、承認された。

・会費値上げと PSI オンラインジャーナルについては、本評議員会および総会での了承が得られれば、原案に沿って Springer 社との交渉を進め、さらに1年間の検討の後、平成29年度の評議員会・総会にて正式な承認を得、平成29年度から改定後の年会費額で運用を開始する。

・一般社団法人化については、本評議員会および総会での了承が得られれば、必要な手続および規約作成などにつき、専門家を加えて検討に入る。

## 6. 専門医制度委員会報告

専門医制度両委員会委員長より以下の報告があり、承認された。

(1) 施設認定委員会

植村貞繁委員長より以下の報告があった。

- 1) 委員会開催状況の報告
- 2) 施設認定状況の報告
- 3) 新専門医制度における専門研修プログラムについて
- 4) NCD登録に関わる諸問題について

(2) 専門医認定委員会

檜山英三委員長より以下の報告があった。

- 1) 委員会開催状況の報告
- 2) 専門医・指導医認定状況の報告
- 3) 専門医筆記試験合格状況報告
- 4) 新専門医制度における専門研修プログラムについて

(3) 合同委員会（施設認定委員会および専門医認定委員会）報告

檜山英三専門医認定委員会委員長より以下の報告があった。

3回の合同委員会を行い、継続的に以下の案件につき検討を行った

- 1) 新専門医制度（日本専門医機構）における小児外科専門医の開始時期について
- 2) 新専門医制度（日本専門医機構）における小児外科専門研修制度整備基準（案）、小児外科専門医更新要件、小児外科認定施設要件について
- 3) 2013年度の年次報告経緯説明と2014年NCD登録と小児外科手術の紐付け作業の説明および今後の問題等について
- 4) 日本専門医機構のヒアリングについて
- 5) NCDデータを利用した専門医制度のシステムの現状について
- 6) その他

7. 2015（平成27）年度収支決算報告

渡井 有財務会計委員長より、平成27年度決算案について説明があった。なお、熊本地震の影響により、第31回秋季シンポジウム（熊本）の決算は次年度収支決算報告に反映させる旨の説明があった。

続いて上野 滋監事より、5月9日に行われた監査の結果、決算案が適正であったとの報告があったが、支出において予算額と決算額が乖離している項目も散見されるため、より慎重な事業計画・予算策定が必要との意見もあわせて述べられた。

以上により、決算案が承認された。

8. 2016（平成28）年度収支予算案

渡井 有財務会計委員長より、平成28年度予算案について説明があり、承認された。

9. 次期総会開催時期、及び開催地決定の件

仁尾正記次期会長より挨拶があった。また、以下につき報告があり、承認された。

第54回日本小児外科学会学術集会

開催時期：2017年5月11日（木）から13日（土）

開催地：仙台国際センター

#### 10. その他

(1) 窪田正幸次期副会長より挨拶があった。

(2) 黒田理事長より、新名誉会員の蕪澤融司先生、福澤正洋先生に会員証が贈呈され、両先生より挨拶があった。

議長より、以上で予定されていた議題の審議がすべて終了した旨の宣言があった。

最後に、田口会長より挨拶があり、続いて閉会宣言が行われた。

(閉会時刻：17時36分)

以上

議長 \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_